

大分南警察署協議会

第1回会議の開催状況

第1	開催月日
	令和5年7月6日（木）

第2	出席者
協議会	委員 10名
警察署	署長、副署長、地域交通官、総務課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、湯布院幹部交番所長、大南幹部交番署長 12名

第3 議事の概要

- 1 業務説明等
警察署から
・管内情勢・業務推進状況
について説明がなされた。
- 2 諮問事項の説明
警察署から
・諮問事項「高齢者を守る特殊詐欺・交通事故対策」
について説明がなされた。
- 3 諮問事項に関する意見
 - (1) 特殊詐欺被害防止対策について
 - ア 委員から「特殊詐欺は、どういう人が被害に遭うのか特定できれば守る方法が考えられるのではないかと思います。」旨の意見がなされ、警察署から「名簿が出回って、それらを基にしている場合がある。警察もアジト等から押収した名簿に記載の人の自宅を個別に訪問して、注意喚起するなどしている。」旨の説明がなされた。
 - イ 委員から「被害額が小さい被害もあるが、犯人としては採算がとれないのではないかと。」旨の質問がなされ、警察署から「騙せても騙せなくても、とにかく電話する数をかせぐことで、騙される者は必ずいるので、結果的に被害額が大きくなる。」旨の説明がなされた。
 - ウ 委員から「私方は、固定電話に詐欺被害防止機能を付けているが、詐欺の電話がかからなくなった。本当に効果がある。警察のチラシを民生委員さんから一人暮らしの高齢者に届けてもらえばいいのではないかと。」旨の意見がなされた。
 - エ 委員から「田舎だとその家庭事情に詳しいのは、民生委員さんや自治委員さん等と思う。その人達の情報で、狙われやすい人の目星がつくのではないかと。」旨の意見がなされた。
 - オ 委員から「相談できる人が側にいない時間帯を狙って電話をしてくることが多いと思う。家族等が、「何時を過ぎたら電話には出るな。」などと言って注意すれば、被害に遭わないと思う。」旨の意見がなされた。
 - カ 委員から「以前、特殊詐欺の電話がかかってきて、「10分待ってください。家族に相談する。」と言ったら電話が切れた。また、知人からの話で、オレオレ詐欺の電話があり、パニックになってATMに向かう途中、本当の息子さんから電話がかかり、詐欺電話だと分かったそう。その様な経験から高齢者の方達には、パニックにならないことや「10分待って、家族に相談する。」と相手に言えば防止できると話している。」旨の意見がなされた。
 - キ 委員から「地域コミュニティが希薄化してきているため、自治会等で防犯をやっていく必要があると思う。警察と行政で情報交換し、共通認識のもと、行政も交えてやっていく必要があると思う。」旨の意見がなされた。
 - ク 委員から「由布市では、特殊詐欺被害防止機能付き電話機の購入補助が、年間10台までなので、もう少し増やせればと思う。」旨の意見がなされた。
 - ケ 委員から「警察が主体でボランティア等を集めて、本当らしく高齢者を騙してみてもどうか。高齢者が体験をすることで、実際に騙されずに防げるのではないかと。」旨の意見がなされた。
 - コ 委員から「詐欺の問題も交通事故も、配り物を行政や警察から渡すだけでなく、民生委員さん等から渡すことも大事と思う。また、民生委員さんなど地域リーダーになり得る方の研修も大切と思う。自助、共助、公助が重要。」旨の意見がなされた。

サ 委員から「高齢者の福祉施設などで詐欺に関する講話等をしてはどうか。」旨の意見がなされ、警察から「現在も行っていきますが、今後も工夫していきたい。」旨の説明がなされた。

シ 委員から「高齢の方に声かけすることによって、被害防止には繋がると思う。ただ、ATMで「今から言う番号を押してください。」と言われると、焦って、口座番号を入力しているのか金額を入力しているのか分からず、振り込んでしまうみたいだ。」旨の意見がなされた。

(2) 交通事故防止対策について

ア 委員から「年齢制限を設けて強制的に返納させないと高齢者の事故は止まれないと思う。車の免許証取得が18歳以上と制限があるので、返納についても期限を決めてもいいと思う。」旨の意見がなされた。

イ 委員から「免許の返納は、山間部は車がないと何もできなので難しい。」旨の意見がなされた。

ウ 委員から「高齢の方から「50年間無事故だったのに事故をした。」という話があり、まだ大丈夫という認識が強いのだと思う。免許証の返納も、一人暮らしの方などは、誰かが返納を促したほうがよいと思う。」旨の意見がなされた。

4 その他の意見

防犯カメラについて、

ア 委員から「防犯カメラは、警察から「ここに取り付ける」というわけにはいかないのか。」旨の質問がなされ、警察から「警察が補助の面で関わることができるのは最初の設置の経費で、管理は地域等である。自身の地域を守る為という観点から設置するものであると理解してもらえればと思う。」旨の説明がなされた。

イ 委員から「警察が防犯カメラを付けて、データ管理してくれたらいいと思う。」旨の意見がなされた。

ウ 委員から「防犯カメラは、最初の設置はできてもその後の管理が問題で、民間と行政が、タイアップして何らかのいい方法を考えていくことが、地域の治安を守るために必要と考える。」旨の意見がなされた。